英文法 L01 第 35 講 疑問詞＋to 不定詞

学習目標

疑問詞と to 不定詞を組み合わせた基本表現を判断することができる。

1. 疑問詞＋to 不定詞の形と意味

疑問詞＋to 不定詞

疑問詞＋to＋動詞の原形は、「何を〜するか」「どのように〜するか」「どこで・どこへ〜するか」「いつ〜するか」などを表す。

疑問詞から始まる部分全体が名詞のように働き、動詞の目的語などになる。目的語とは、動詞の表す動作や判断の対象となる語句のことである。

選択内容を一つのまとまりで表す

疑問詞は、疑問文を作るときだけでなく、to 不定詞と組み合わせても使える。この形では、何をするか、どこでするか、いつするかといった内容を一つのまとまりで表す。

Pair 1

I don't know what to do.

私は何をすればよいかわからない。

Pair 2

She knows where to sit.

彼女はどこに座ればよいか知っている。

Pair 3

We will decide when to start.

私たちはいつ始めるか決める。

最初の文では、what to do が know の目的語になっている。2 番目の文では where to sit が、3 番目の文では when to start が、それぞれ動詞の後ろで名詞のように働いている。

日本語では「〜すればよいか」と訳すことも、「〜するか」と訳すこともある。文全体の意味に合わせて判断する。

疑問詞によって変わる選択内容

次の図では、中心の decide（決める）から、決める内容に応じて 4 つのまとまりが分かれる。



図 1　決める内容を表す 4 つのまとまり

what to pack は「何を荷物に詰めるか」を表し、持っていく物を選ぶ場面に対応する。how to use it は「それをどのように使うか」を表し、カメラの使い方を考える場面に対応する。この it はカメラを指す。

where to go は「どこへ行くか」を表し、行き先を選ぶ場面に対応する。when to leave は「いつ出発するか」を表し、出発時刻を考える場面に対応する。

いずれも、**何について決めるのか**を示す表現である。すでに決定したことを表すわけではない。

疑問詞	基本的な役割	意味の目安
what	内容・物を示す	何を〜するか
how	方法を示す	どのように〜するか
where	場所・行き先を示す	どこで・どこへ〜するか
when	時を示す	いつ〜するか

疑問詞の意味だけを暗記するのではなく、何がまだ分からないのか、何を選ぼうとしているのかを考えることが大切である。

©ミライコーチング

2. what to do と how to do it の違い

what は内容、how は方法を表す

what と how は、どちらも to 不定詞と組み合わせられるが、文の中での役割が異なる。

表現	意味	do との関係
what to do	何をするか	what が do の目的語になる
how to do it	それをどのようにするか	how は方法を表し、it が do の目的語になる

Pair 1

I know what to do.

私は何をすればよいか知っている。

Pair 2

I know how to do it.

私はそれをどのようにすればよいか知っている。

最初の文では、what 自体が「何を」という内容を表し、do の目的語になっている。

一方、2 番目の文では、how は動作の方法を表す。ここでの do は「〜をする」という意味で使われ、目的語として it を取る。

そのため、**what to do と how to do it では、何を尋ねているのかが違う**。

ただし、how の後ろで使うすべての動詞に it が必要なわけではない。例えば、how to swim は「どのように泳ぐか」「泳ぎ方」という意味であり、swim の後ろに it を置く必要はない。目的語が必要かどうかは、動詞の使い方によって決まる。

3. 疑問文との語順の違い

疑問文の語順をそのまま入れない

疑問詞＋to 不定詞は、直接質問する疑問文とは語順が異なる。

Pair 1

Where do I wait?

私はどこで待てばよいですか。

Pair 2

I don't know where to wait.

私はどこで待てばよいかわからない。

直接質問する文では、Where do I wait?のように、疑問詞の後ろに do と主語 I が続く。

しかし、疑問詞＋to 不定詞では、where to wait という語順になる。この基本形では、疑問文の do や does、主語をそのまま持ち込まない。

ポイント

疑問詞＋to 不定詞を作るときは、次の順序を確認する。

疑問詞 → to → 動詞の原形

what to buy（何を買うか）、how to open the door（どのようにドアを開けるか）、when to begin（いつ始めるか）のように、一つのまとまりとして読む。

疑問詞を機械的に当てはめない

what・how・where・when などは、疑問詞＋to 不定詞の基本表現として使える。ただし、すべての疑問詞を同じように使えるわけではない。特に why をこの形へ機械的に当てはめることは避ける。

また、how の後ろでは、動詞が目的語を必要とするかにも注意する。疑問詞だけでなく、後ろに続く動詞の形まで確認する。

4. 例題

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

We need to decide (　　) for the school festival.

A. what to sell

B. what sell to

C. what do we sell

D. what to selling

解答・解説

正解：A

Pair 1

We need to decide what to sell for the school festival.

私たちは文化祭で何を売るか決める必要がある。
decide の後ろには、「何を売るか」という決定内容が続く。what は sell の目的語となるため、what to sell という形を使う。

A. **what to sell** は正しい。what が売る物を表し、what to sell 全体が decide の目的語になる。

B. what sell to は誤り。疑問詞の後ろで to 不定詞を作るには、to を動詞 sell の前に置く必要がある。

C. what do we sell は誤り。これは直接質問する疑問文の語順であり、この文の decide の後ろにはそのまま置けない。

D. what to selling は誤り。to 不定詞では、to の後ろに動詞の原形 sell を置く。

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

Tom showed me (　　) the printer.

A. how use to

B. how to use

C. how using

D. how do I use

解答・解説

正解：B

Pair 1

Tom showed me how to use the printer.

トムは私にプリンターの使い方を教えてくれた。
「プリンターをどのように使うか」という方法を表したいので、how を使う。how to use the printer が一つのまとまりとなり、showed me の後ろで教えた内容を表している。

A. how use to は誤り。to を動詞 use の前に置く必要がある。

B. **how to use** は正しい。how が方法を表し、to の後ろに動詞の原形 use が続く。use の目的語は the printer である。

C. how using は誤り。この構文では、疑問詞の後ろに to＋動詞の原形を置く。

D. how do I use は誤り。直接質問する疑問文の語順になっており、この文の showed me の後ろにはそのまま置けない。

5. 演習問題

語順と形の判断

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

I cannot decide (　　) for my friend's birthday.

A. what buying

B. what to buy

C. what do I buy

D. what buy to

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

Please tell me (　　) the window safely.

A. how to opening

B. how open to

C. how do I open

D. how to open

3

次の英文の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

They are discussing (　　) after the concert.

A. where to eat

B. where eat to

C. where do they eat

D. where to eating

4

次の英文の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

I need to decide (　　) the report to my teacher.

A. when send to

B. when should I send

C. when to send

D. when sending to

©ミライコーチング

意味と疑問詞の判断

5

次の英文の文脈に合うように、空所に入る最も適切な疑問詞を A〜D から 1 つ選べ。

I know the time and place, but not the method. Tell me (　　) to bake this bread.

語句：method＝方法

A. where

B. what

C. how

D. when

6

次の英文の文脈に合うように、空所に入る最も適切な疑問詞を A〜D から 1 つ選べ。

The dates and travel method are set; only the destination is undecided. We need to decide (　　) to go.

語句：destination＝目的地

A. where

B. when

C. what

D. how

©ミライコーチング

7

次の英文の文脈に合うように、空所に入る最も適切な疑問詞を A〜D から 1 つ選べ。

We have chosen the café; only the meeting time is undecided. We need to decide (　　) to meet.

A. how

B. where

C. what

D. when

8

次の英文の文脈に合うように、空所に入る最も適切な疑問詞を A〜D から 1 つ選べ。

I have arranged the time, place, and transport. Only the gift is undecided. I must decide (　　) to bring.

語句：transport＝移動手段

A. how

B. what

C. when

D. where

演習問題の解答・解説

1

正解：B

Pair 1

I cannot decide what to buy for my friend's birthday.

私は友達の誕生日に何を買うか決められない。
空所には、decide の目的語となる「何を買うか」というまとまりが必要である。what は buy の目的語となるため、what to buy を選ぶ。

A. what buying は誤り。疑問詞＋to 不定詞の形になっておらず、to＋動詞の原形が必要である。

B. **what to buy** は正しい。what が買う物を表し、what to buy 全体が decide の目的語になる。

C. what do I buy は誤り。直接質問する疑問文の語順であり、この文では使えない。

D. what buy to は誤り。to は動詞 buy の後ろではなく、前に置く。

2

正解：D

Pair 1

Please tell me how to open the window safely.

安全に窓を開ける方法を教えてください。
「安全に窓を開ける方法」を尋ねているため、how を使う。how to open the window が方法を表すまとまりとなり、safely は「安全に」という意味で open を説明している。

A. how to opening は誤り。to 不定詞では、to の後ろに動詞の原形 open を置く。

B. how open to は誤り。to の位置が違う。how to open の語順が必要である。

C. how do I open は誤り。直接質問する疑問文の語順になっており、この文の tell me の後ろにはそのまま置けない。

D. **how to open** は正しい。how が開け方を表し、to の後ろに原形 open が続く。

3

正解：A

Pair 1

They are discussing where to eat after the concert.

彼らはコンサートのあとでどこで食事をするか話し合っている。
discussing の後ろには、話し合っている内容が続く。「どこで食事をするか」という場所について話し合っているため、where to eat を使う。

A. **where to eat** は正しい。where が食事をする場所を表し、where to eat 全体が discussing の目的語になる。

B. where eat to は誤り。to は動詞 eat の前に置く必要がある。

C. where do they eat は誤り。直接質問する疑問文の語順になっており、この文の discussing の後ろにはそのまま置けない。

D. where to eating は誤り。to 不定詞では、to の後ろに原形 eat を置く。

4

正解：C

Pair 1

I need to decide when to send the report to my teacher.

私は先生にいつレポートを送るか決める必要がある。
空所には「いつ送るか」という時を表すまとまりが必要である。when to send the report to my teacher が、decide の目的語になっている。

A. when send to は誤り。to 不定詞の to は、動詞 send の前に必要である。

B. when should I send は誤り。直接質問する疑問文の語順になっており、この文の decide の後ろにはそのまま置けない。

C. **when to send** は正しい。when が送る時を表し、to の後ろに原形 send が続く。

D. when sending to は誤り。疑問詞＋to 不定詞では、to＋動詞の原形を使う。sending をそのまま続ける形にはしない。

5

正解：C

Pair 1

I know the time and place, but not the method. Tell me how to bake this bread.

時間と場所は分かっているが、方法は分からない。このパンをどう焼けばよいか教えて。
文脈では、時と場所はすでに分かっており、方法だけが分からないと述べている。そのため、方法を表す how を選ぶ。

A. where は誤り。「どこで」という場所を表すが、場所は分かっていると明示されている。

B. what は誤り。「何を」という内容を表すが、ここでは焼く物が this bread と示されている。what to bake this bread という形にもならない。

C. **how** は正しい。how to bake this bread で「このパンをどのように焼くか」を表し、方法を知りたいという文脈に合う。

D. when は誤り。「いつ」という時を表すが、時は分かっていると明示されている。

6

正解：A

Pair 1

The dates and travel method are set; only the destination is undecided. We need to decide where to go.

日程と移動手段は決まっているが、行き先だけは未定だ。私たちはどこへ行くか決める必要がある。

日程と移動手段は決まっており、目的地だけが未定だと述べている。選ぶ必要があるのは行き先なので、場所・方向を表す where を使う。

A. **where** は正しい。where to go で「どこへ行くか」という行き先を表す。

B. when は誤り。「いつ行くか」という時を表すが、日程はすでに決まっている。

C. what は誤り。what to go では、この文で必要な「どこへ行くか」という意味を表せない。

D. how は誤り。「どのように行くか」という方法を表すが、移動手段はすでに決まっている。

7

正解：D

Pair 1

We have chosen the café; only the meeting time is undecided. We need to decide when to meet.

私たちは待ち合わせるカフェを選んでいるが、会う時刻だけは未定だ。私たちはいつ会うか決める必要がある。
待ち合わせ場所は決まっており、会う時刻だけが未定である。必要なのは時を表す疑問詞なので、when を選ぶ。

A. how は誤り。「どのように会うか」という方法を表すが、ここで未定なのは時刻である。

B. where は誤り。「どこで会うか」という場所を表すが、カフェはすでに選んでいる。

C. what は誤り。what to meet では、この文で必要な「いつ会うか」という意味を表せない。

D. **when** は正しい。when to meet で「いつ会うか」を表し、未定の時刻を決めるという文脈に合う。

8

正解：B

Pair 1

I have arranged the time, place, and transport. Only the gift is undecided. I must decide what to bring.

私は時間と場所、移動手段を手配している。贈り物だけはまだ決まっていない。私は何を持っていくか決めなければならない。
時間・場所・移動手段は決まっており、贈り物だけが未定である。決めるべき内容は「何を持っていくか」なので、what を選ぶ。

A. how は誤り。「どのように持っていくか」という方法を表すが、ここで決める必要があるのは贈り物そのものである。

B. **what** は正しい。what to bring で「何を持っていくか」を表す。what が bring の目的語となる。

C. when は誤り。「いつ持っていくか」という時を表すが、時間はすでに決まっている。

D. where は誤り。「どこへ持っていくか」という場所・行き先を表すが、場所はすでに決まっている。